

北区バリアフリー基本構想【地区別構想 滝野川地区】概要版

第4章 滝野川地区の現状と課題

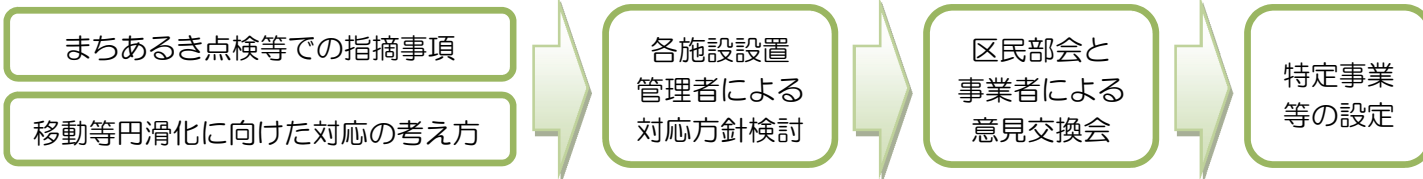
まちあるき点検の実施

平成 29 年 5 月 24 日、31 日に主要な生活関連施設、主要な生活関連経路を対象に実施。出席者延べ 82 名。

課題の整理

- **公共交通**：鉄道駅への複数のバリアフリールート確保、バス停留所での案内の充実や上屋の整備 等
- **道路**：JIS規格に適合した連続的な視覚障害者誘導用ブロック敷設、勾配の改善 等
- **公園**：車いす等が入りにくい車両侵入防止柵の改善、トイレの維持管理や使いやすさの改善 等
- **建築物**：施設の状態を踏まえた整備、通路幅確保の配慮、人的対応の質の向上 等
- **交通安全**：バリアフリー対応信号機及びエスコートゾーンの設置推進 等
- **その他**：駅前広場の舗装や視覚障害者誘導用ブロックの改善、案内の充実 等

第5章 移動等円滑化に関する事項



第6章 滝野川地区における特定事業等

事業者数：58、事業数：1053 平成 30 年 3 月 12 日現在

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 公共交通特定事業：5 事業者、92 事業 | 道路特定事業：5 事業者、151 事業 |
| 建築物特定事業：30 事業者、620 事業 | 都市公園特定事業：2 事業者、89 事業 |
| 交通安全特定事業：1 事業者、4 事業 | その他の事業：15 事業者、88 事業 |

第7章 人的対応・こころのバリアフリーの推進

- **特別支援学校へのアンケート及びヒアリング調査による当事者の声の収集**
：障害当事者が直面している『こころのバリア』や事業者等が配慮できることを整理したリーフレットの作成
- **視覚障害者誘導用ブロック設置地図の活用方策検討**
：視覚障害者以外にも有益な視覚障害者誘導用ブロックの活用方法の検討 等
- **事業者への障害理解の取組**
：区民部会委員による障害特性に関する講話や便利グッズの紹介、視覚障害の疑似体験、意見交換 等

第8章 基本構想の推進とスパイラルアップ

- **特定事業計画の作成及び進捗状況の管理、基本構想のスパイラルアップ**：赤羽地区の特定事業計画の作成
- **事業実施時における利用者参加の推進**：なでしこ小学校等複合施設の施設見学会の実施
- **施設設置管理者等への働きかけ**：主要な生活関連施設以外の施設や商店街等への周知、対応の依頼
- **利用者への情報提供**：北区ニュースや北区ホームページを活用した取組の周知

※「高齢者、障害者等」はバリアフリー法の解説では「高齢者、障害者、妊産婦、けが人等」とされている。本基本構想ではこれらに加え、乳幼児同伴者や子育てをしている人、外国人、LGBTなど、移動や施設の利用に制約のある全ての人（以下、「多様な利用者」という。）を対象と捉え、検討を進める。

第1章 地区別構想の策定にあたって

平成 28 年度：赤羽地区 平成 29 年度：滝野川地区

北区バリアフリー基本構想

北区全域を対象とした指針として、基本方針や留意事項を整理したもの。平成 27 年 3 月策定。

北区バリアフリー基本構想 地区別構想

個別の重点整備地区における具体的なバリアフリー化施策を定めて事業を推進する。

第2章 地区別構想の基本方針

基本構想の基本理念と基本方針

「気づき」を共有し、カタチにするまち 北区
～だれもが健やかに安心して生活・移動できるユニバーサル社会を目指して～

- だれもが利用しやすい生活環境づくりを目指した基本構想づくりを目指します
- おおむね 10 年後（平成 37 年度）を目標とします
- 区全域におけるバリアフリー推進の考え方を示します
- まちづくりを進めるうえで効果の高い地区を重点整備地区に定めます
- 重点整備地区（地区別構想）では実現性の高い具体的な特定事業を定めます
- こころと情報のバリアフリーの推進に向けた具体的な事業や協働による取組の方向性を示します
- 段階的かつ継続的な発展（スパイラルアップ）に向け利用者の参加による推進方法を示します

第3章 重点整備地区及び生活関連施設、生活関連経路の設定

重点整備地区の設定

北区都市計画マスタープランで設定されている滝野川西地区、滝野川東地区を重点整備地区【滝野川地区】とし、鉄道駅の分布状況や地区の特性を踏まえさらに 3 つの地区に分割

【①板橋駅・石神井川南周辺】 【②上中里・尾久・西ヶ原駅周辺】 【③田端・駒込駅周辺】

生活関連施設の設定

	生活関連施設（451 施設）	主要な生活関連施設（96 施設）
考え方	高齢者、障害者等をはじめとする多様な利用者が日常生活又は社会生活において利用する施設	生活関連施設のうち、広域かつ不特定多数の利用が見込まれる施設及び旧基本構想の目的施設
推進方法	法や条例等に基づき基準への適合に努める（全生活関連施設が努力義務の対象）とともに、各自が可能な取組を講じていただけるように多様な機会を通じて働きかけ	基本構想制度を活用し、バリアフリー化に関する特定事業等を設定する

生活関連経路の設定

	生活関連経路	主要な生活関連経路
考え方	生活関連施設相互間を結ぶ経路、又は歩行者ネットワークを形成する主要な動線や商店街	生活関連経路のうち、主要な生活関連施設相互間を結ぶ経路
推進方法	新設や大規模改修時には基準への適合に努める（全生活関連経路が努力義務の対象）とともに、配慮事項を踏まえた適切な維持管理等が継続的に図られるよう道路管理者へ働きかけ	基本構想制度を活用し、バリアフリー化に関する特定事業等を設定する

滝野川地区における重点整備地区及び生活関連施設・生活関連経路

